

# 急報

解体業者の皆さまへ

JARP 2020.1 A-1922

## エアバッグのリコール届出が行われました!! 対象エアバッグの取外回収をお願いします

平素は、エアバッグ類の適正業務の遂行にご尽力いただきありがとうございます。  
さて、今般2020年1月22日付にて以下メーカーの一部車両において、リコール届出が行われました。つきましては、以下「2.確認手順」に従い、対象車台のリコール対策済みであるかご確認頂き、対策未実施の車台は取外回収をお願いいたします。

### 1.対象車両

メーカー名	対象車両	部位	対策済ステッカー番号
トヨタ自動車株式会社	平成9年2月～平成11年8月生産の 「ガイッツ」「加-ラ」「加-ラセレス」「スプリッターマリノ」 「加-ラビソ」「スプリッター」「スプリッタートレノ」「加-ラスパッソ」 「スプリッターカブ」「RAV4 J」「RAV4 L」「RAV4 EV」 「カルディヤ」「セカ」「MR2」「スプラ」「スターレット」「ラウム」 「ハイラックスーフ」「サイス」「カリナ」の一部車両	運転席	4645
ビー・エム・ダブリュー株式会社	平成10年3月～平成12年6月輸入の 「BMW 318i」「BMW 318i ツーリング」「BMW 320i」 「BMW 323i」「BMW 328i」「BMW 328Ci」 の一部車両		外-2974

リコールの詳細内容、対象車台の範囲については、以下のHPにてご確認ください。

<国土交通省HP><http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall.html> (2020/01/22)

<トヨタ自動車株式会社HP><https://toyota.jp/recall/index.html> (2020/01/22)

<BMWHP>[http://bmw-japan.jp/after-service/recall\\_landing.html](http://bmw-japan.jp/after-service/recall_landing.html) (2020/01/22)

<自再協HP><http://www.jarp.org/> (2020/01/24 掲載)

### 2.確認手順

【確認①②③】

**対象車両の確認**  
「解体工程 1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」/「車台詳細情報」画面

オレンジ以外

オレンジ

【作動①②③】

通常通り作業

(車上作動処理可)

ステッカー

【確認④】

有り

対策済ステッカー番号の確認

4645・外-2974

の確認

ステッカー無し

【作業①②】

《運転席》

エアバッグ類

取外回収

自動車再資源化協力機構 (自再協)

TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

# <確認方法・移動報告画面>

## 【確認①】対象車両の確認

### ◆1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告(解体工程)

解体工程 > 使用済自動車/解体自動車引取報告 > 情報管理センターへの報告 (JPRS3106)

1. 引取実施事業者 (白社) 情報  
 事業所コード: 120456708012 事業者/事業所名: 詳細 ○○株式会社 ●●●●●●●●

2. 引取対象車台の一覧  
 該当車台は以下です

引取報告日	引取元事業者/事業所名	車台番号	型式	車名	参考 加/減 装備	エアバッグ類 ※ 熱性対応済車 自社 処理	対策済 処理	引取報告 対象車台
2018/11/25	○○○自動車株式会社	120456708012	AC0007G013	通称車台	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	○○○自動車株式会社	120456708012	AC0007G013	一時停止車台	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	○○○自動車株式会社	120456708012	AC0007G013	既取車台	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

解体工程「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」にて、背景色が「オレンジ」で表示されている車台が、リコール対象エアバッグ類装備車両となります。

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

## 【確認②】対象部位の確認

### ◆車台詳細情報画面(解体工程)

1) リコール対象部位は背景色が「オレンジ」で表示されます

1. 車台情報

部品名	部品コード	部品名	部品コード
エンジン	120456708012	エンジン	120456708012
トランスミッション	120456708012	トランスミッション	120456708012
エアバッグ類	120456708012	エアバッグ類	120456708012

オレンジ表示されている車台の「詳細」から車台詳細情報を開き、リコール対象部位・対策済ステッカー番号をご確認ください。

2) リコールについての「メーカーからのお知らせ」に対策済ステッカー番号が表示されます。

## 【確認③】処理方法の選択の確認

### ◆1.10 処理方法選択画面(解体工程)

3. 処理対象車台の一覧

引取報告日	車台番号	型式	車名	参考 加/減 装備	エアバッグ類 ※ 熱性対応済車 自社 処理	対策済 処理	引取報告 対象車台
2018/11/25	120456708012	AC0007G013	通称車台	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	120456708012	AC0007G013	一時停止車台	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	120456708012	AC0007G013	既取車台	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【車上作動契約がある場合】  
 リコール対象部位を取外・それ以外の部位を作動している場合、「取外」「作動」の両方にチェックをして処理選択してください

間違いなく処理選択されているか必ずご確認ください。

👉 なお、「1.11 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告」「1.13 エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告」でもオレンジ表示が確認できます。

### 【参考1】オレンジ表示確認画面範囲

解体業者の方で、引取業とフロン類回収業を兼任されている事業所は、引取工程の引渡報告画面、フロン類回収工程の引取報告画面においても、リコール対象車台のオレンジ表記がされるようになっていきます。

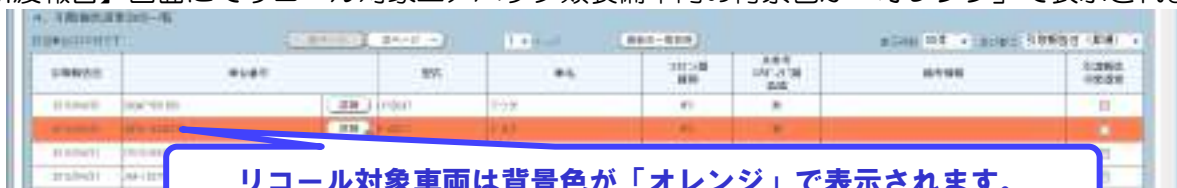


自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面をご確認ください。また特別費用支払対象車両は、解体工程でオレンジ表示されているリコール対象車台となります。

### 【参考2】引取工程・フロン類回収工程での確認

#### ◆引取工程の使用済自動車の引渡報告画面(解体業者兼任限定)

引取工程【1.1 フロン類回収業者への使用済自動車の引渡報告】【1.3 解体業者への使用済自動車の引渡報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。



※自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面を確認ください。


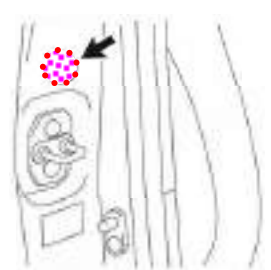
#### ◆フロン類回収工程(解体業者兼任限定)

フロン類回収工程【1.1 使用済自動車の引取報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。



**【確認④】対策済ステッカー有無、ステッカー番号の確認**

手順①の対象車台については、以下の内容にて確認いただき、リコール未対策の場合には、必ず取外回収を行い、作業①②に従って指定引取場所に引き渡してください。

対策済ステッカー（例）	貼付場所
<p>必ずステッカー番号を確認してください。</p>  <p>ステッカー番号</p>	<p>運転席ドア開口部のドアロックストライカー付近に貼付されています。</p> 

リコール対策済み		リコール未対策	
複数枚	<p>該当する全てのステッカーを貼付</p>  <p><b>例①</b> 「3456」ステッカーが貼付されている</p> 	<p>該当する全てのステッカー貼付</p>  <p><b>例④</b> 「3456」ステッカーが貼付されていない</p> 	
1枚	<p>最新ステッカーを貼付</p>  <p><b>例②</b> 「3456」ステッカーが貼付されている</p>  <p><b>例③</b> 「3456」以上(例: 3457)ステッカーが貼付されている</p>	<p>最新ステッカーを貼付</p>  <p><b>例⑤</b> 「3456」以前(例: 3455)ステッカーが貼付されている</p>	
なし	<p>なし</p>	<p><b>例⑥</b> ステッカーが貼付されていない</p>	

(注) 車両によってリコール対策済ステッカーの貼付方法が異なりますのでご注意ください。

## 【作業①】リコール対象エアバッグの取外回収、分解

リコール対象のエアバッグを車両から取り外しインフレーターの状態まで分解したら、以下の手順に従い指定引取場所に引き渡してください。

	正しい性状	誤った性状	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフレーター状態まで分解</li> <li>ハーネスを5cmほど残して切断した上で、先端の被覆をむき撚り合わせてショート</li> </ul>	分解不十分 (付属品がついている)	短絡不良 (ハーネスを撚り合わせてショートしていない)
運転席			
助手席			

## 【作業②】梱包

取外し後のインフレーターは以下の要領で指定引取場所に引き渡してください。

通常通り、回収袋に収納し、「全桁の車台番号(※)」を書いた荷札を付けてください。

その際、荷札の車台番号を赤マジックで囲んでください。

(※) 指定引取場所等での車両特定の為、車台番号の全桁記入をお願いします。



万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

## 補足

-- 車上作動処理委託契約事業者の皆さまは、以下の作業もお願いいたします --

### 作動 1. リコール対象外のエアバッグ類を車上作動処理し、実績を記録してください。

- ☞ リコール対象のエアバッグを取外した後も一括作動処理が可能です。
- ☞ 車上作動処理を行う際は、「ガラス等の飛散防止」「通電時の距離確保と遮蔽物の設置」「周囲の安全確保」等、安全対策を確実に実施した上で通電してください。

#### 《安全作業の一例》

① ドアを開け、全体カバーをかけてガラス等の飛散防止

② 通電時の距離(5m以上)を確保するとともに遮蔽物を設置。作業者は遮蔽物に確実に隠れる位置で通電してください。

③ 通電時のヘルメット着用

④ 通電時の周囲への声かけ。車台の周囲に人がいないことを確認してください。



※車上作動処理実施後、出火、異常な煙・臭いがないことをご確認ください

- ☞ また、車上作動処理実施の際、インフレーター等が破断し部品が車外に飛散する事象が稀に発生している為、従来の安全作業に加え、以下の対策実施を推奨します。

Ⓐ ハンドル位置を下げ、運転席のヘッドレストを最下部まで下げ、シートを前方に引き出すとともに前に倒す。

ハンドルの向きを下げ、シートを前に倒す事で、運転席側のインフレーター等の車外への飛散を抑えることを期待。



Ⓑ フロントガラスに毛布を置き、その上にカバーをかける

毛布をかけた上に更にカバーをかける事で、飛散防止効果を期待。



Ⓒ ボンネットを開ける

ボンネットを開けた状態で通電することで、インフレーター等の車外前方への飛散を防ぐことを期待。(ポップアップボンネット付車台を除く)



- ☞ 車上作動処理実施後、速やかに処理結果を管理台帳に記入してください。  
(備考欄に「リコール対象部位(例：助手席)は取外回収」と記入)

① 事務所管理欄(1)			② 作業場管理欄				③ 事務所管理欄(2)		備考
No.	車台番号	車名	作動処理実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車引渡先	解体自動車 引渡日	
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3				助手席(リコール)は取外回収
2									
3									
4									

作動処理した個数を記入

例：助手席を取外回収した旨を記入

## 作動 2. 自動車リサイクルシステムへの入力

- ☞ 「一部取外回収・一部車上作動処理」で引渡報告します。

- ① 「解体工程 1.10 エアバッグ類処理方法の選択」
- ② 「解体工程 1.11 および 1.12 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告」  
回収ケースを引渡した後、『取外回収』で引渡報告します。

1.8	手渡報告	※認定全部利用者への解体自動車引渡報告
1.9	引渡先確定済車台の一覧	※非認定全部利用者：メーカー
1.10	エアバッグ類処理方法の選択	エアバッグ類処理方法の選択
1.11	手渡報告	
1.12	引渡先確定済車台の一覧	エアバッグ類(取外回収)の引渡報告
1.13	手渡報告	エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告

「回収」と「作動」  
の両方にチェック  
します。

回収	作動
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「処理方法の選択」画面で、『回収』と『作動』の両方にチェックをした場合、「車上作動処理」での引渡報告は必要ありません。

## 作動 3. 管理台帳のエアバッグ類引渡報告日を記入

- ☞ 引渡報告が完了したら、管理台帳の「エアバッグ類引渡報告日」欄にその日付を記入し保管します。

① 事務所管理欄(1)			② 作業場管理欄				③ 事務所管理欄(2)		備考
No.	車台番号	車名	作動処理実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	確認者	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車 引渡日	
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3	環境太郎	11/1	10/3	助手席(リコール)は取外回収
2			/					/	
3			/					/	
4			/					/	

取外回収で引渡報告した日を記入

**参考**

**トヨタ株式会社 運転席エアバッグ リコール対象車両一覧**

ヴィッツ



カローラ AE101



カローラセレス



スプリンターマリノ



カローラ AE111



カローラレピン



スプリンター



スプリンターレノ



カローラスパシオ



スプリンターカリブ



RAV4



カルディナ



セリカ



MR2



スープラ



スターレット



ラウム



ハイラックスサーフ



サイノス



カリーナ





表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。必ず移動報告画面のオレンジ表示および車台の「対策済ステッカー:4645」の有無をご確認ください。

**運転席**

※国土交通省HPリコール届出より引用

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
	GF-SCP10	「ウイブ」	SCP10-0001003～SCP10-0055827 平成10年12月21日～平成11年5月31日	1,902	
			SCP10-3000001～SCP10-3083779 平成10年12月21日～平成11年5月31日	3,465	
	GH-NCP10		NCP10-0001001, NCP10-0001003 平成11年7月26日	2	
	GH-NCP15		NCP15-0001001 平成11年7月26日	1	
	E-AE101G	「カローラ」	AE101-0191569～AE101-0204850 平成9年3月3日～平成11年7月30日	432	トヨタ
E-AE101	「カローラセレス」 「スプリングマフ」	AE101-5298500～AE101-5301016 平成9年5月12日～平成10年7月13日	32		
E-AE111	「カローラ」 「カローラレバン」 「スプリング」 「スプリングマフ」	AE111-0006197～AE111-0037332 平成9年3月5日～平成10年4月27日	99		
		AE111-3041151～AE111-3086690 平成10年5月14日～平成11年7月30日	89		
		AE111-5039095～AE111-5066942 平成9年2月27日～平成11年7月30日	2,009		
E-AE111N GF-AE111N	「カローラセレス」	AE111-6065739～AE111-6129755 平成10年3月21日～平成11年7月31日	323		
GF-AE115N		AE115-3007179～AE115-3014790 平成10年4月17日～平成11年7月29日	63		
E-AE111G	「スプリングマフ」	AE111-7015767～AE111-7070501 平成9年3月4日～平成11年7月20日	266		
E-AE114G		AE114-7010829～AE114-7011007 平成11年3月31日～平成11年5月6日	3		
E-SXA10G GF-SXA10G E-SXA10W E-SXA10C GF-SXA10C	「RAV4 J」 「RAV4 L」	SXA10-0168570～SXA10-0215268 平成9年7月24日～平成11年8月31日	650		
E-SXA11G E-SXA11W		SXA11-0143328～SXA11-0226181 平成9年6月11日～平成11年8月23日	674		
		SXA11-7076667～SXA11-7153236 平成9年9月15日～平成11年8月31日	568		
E-SXA15G GF-SXA15G		SXA15-0007875～SXA15-0019722 平成9年6月9日～平成11年8月26日	435		
E-SXA16G GF-SXA16G		SXA16-0016010～SXA16-0042901 平成9年7月25日～平成11年8月30日	303		
		SXA16-7019840～SXA16-7066241 平成9年6月3日～平成11年8月31日	171		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
337	BEA11G	「RAV4 EV」	BEA11-0001007～BEA11-0001844 平成9年8月19日～平成11年8月19日	99	
	E-ST210G	「カブ」	ST210-4014051～ST210-4030896 平成10年5月6日～平成11年5月14日	653	
	E-ST215G E-ST215W		ST215-3000000～ST215-3041250 平成9年8月5日～平成11年7月30日	1,806	
	E-ST202 E-ST202C	「セク」	ST202-0115548～ST202-0135161 平成9年2月27日～平成11年7月16日	1,333	
	E-ST205		ST205-0012284～ST205-0013389 平成9年6月19日～平成11年7月16日	415	
	E-SW20	「MR2」	SW20-0109282～SW20-0114381 平成9年4月7日～平成11年7月30日	1,490	
	E-JZA80	「スーブラ」	JZA80-1000082～JZA80-1004414 平成9年6月16日～平成11年8月31日	1,232	
	E-EP91	「スプレット」	EP91-0314699～EP91-0511715 平成9年11月24日～平成11年7月23日	1,095	
	E-EP95		EP95-0037305～EP95-0041055 平成10年10月21日～平成11年7月1日	8	
	GF-EXZ10	「ファミ」	EXZ10-0049829～EXZ10-0098588 平成10年6月22日～平成11年8月31日	409	
	GF-EXZ15		EXZ15-0009301～EXZ15-0015750 平成10年8月20日～平成11年8月31日	89	
	KD-KZN185W KH-KZN185W	「ハイラックスサーフ」	KZN185-0047439～KZN185-0061931 平成9年7月29日～平成11年7月30日	65	
			KZN185-9014738～KZN185-9035742 平成9年5月9日～平成11年8月31日	102	
	GF-RZN180W		RZN180-0031205～RZN180-0048281 平成10年4月16日～平成11年3月26日	4	
	E-RZN185W GF-RZN185W GH-RZN185W		RZN185-0031835～RZN185-0037136 平成10年9月9日～平成11年8月17日	46	
			RZN185-9008431～RZN185-9029666 平成9年7月14日～平成11年7月22日	35	
	GF-VZN180W		VZN180-0107283, VZN180-0131348 平成10年12月17日, 平成11年6月25日	2	
	E-VZN185W GF-VZN185W		VZN185-0109918～VZN185-0260717 平成9年4月15日～平成11年8月6日	41	
			VZN185-9007477～VZN185-9031898 平成9年8月20日～平成11年8月26日	56	
E-EL52 E-EL52C	「イリス」		EL52-0027281～EL52-0033338 平成9年10月13日～平成11年7月22日	221	
E-EL54 E-EL54C			EL54-0044565～EL54-0049149 平成9年9月23日～平成11年7月12日	94	
E-AT210 GF-AT210	「アリオ」	AT210-6005200～AT210-6006306 平成10年4月16日～平成11年7月29日	163		
(計50型式)	(計21車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成9年2月27日～平成11年8月31日	(計20,945台)		

【注意事項】 対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

**参考**

**ビー・エム・ダブリュー株式会社 運転席エアバッグ リコール対象車両一覧**

318i / 320i / 323i / 328i

318i ツーリング

328Ci



表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。必ず移動報告画面のオレンジ表示および車台の「対策済ステッカー:外-2974」の有無をご確認ください。

**運転席**

※国土交通省HPリコール届出より引用

車名	型式	通称名	リコール対象の車台番号	リコール台数	備考
BMW	GF-AL19	「BMW 318i」	WBAAL32000FH50005 ~ WBAAL32050FH70606 平成10年5月20日 ~ 平成12年1月21日	4,600	
			WBAAL32000AZ10085 ~ WBAAL32040AZ21851 平成10年5月20日 ~ 平成11年6月29日	387	
		「BMW 318i ツーリング」	WBAAP32000JB11091 ~ WBAAP32020JB11092 平成12年1月21日	2	
	GF-AM20	「BMW 320i」	WBAAM11080JM82821 ~ WBAAM110X0JM83887 平成11年4月9日 ~ 平成11年5月14日	219	
			WBAAM12080FN00137 ~ WBAAM12000FN05560 平成11年4月26日 ~ 平成12年1月20日	765	
	GF-AM25	「BMW 323i」	WBAAM32040FP00010 ~ WBAAM32020FP06789 平成10年6月15日 ~ 平成11年6月30日	1,232	
			WBAAM31090FM80400 ~ WBAAM310X0FM82026 平成10年8月18日 ~ 平成11年6月25日	38	
			WBAAM31020JE91304 ~ WBAAM31010JE95554 平成10年8月18日 ~ 平成11年3月30日	1,535	
	GF-AM28	「BMW 328i」	WBAAM51090FN70092 ~ WBAAM51040FN93988 平成10年3月18日 ~ 平成10年8月21日	10	
			WBAAM51000EH66818 ~ WBAAM51030EH74217 平成10年5月5日 ~ 平成11年5月29日	1,208	
WBAAM52090FK83169 ~ WBAAM52020FK87984 平成10年5月14日 ~ 平成11年6月22日			722		
WBAAM52000JM20016 ~ WBAAM52000JM20775 平成11年2月5日 ~ 平成11年6月7日			160		
「BMW 328Ci」		WBAAM51090JK65385 ~ WBAAM510X0JK66075 平成11年3月3日 ~ 平成11年5月19日	85		
4型式	6車種	(製作期間の全体の範囲) 平成10年3月18日 ~ 平成12年1月21日	10,963台		

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。上記の範囲は、車台番号の下7桁を基に区分けしています。